

## 舞鶴ふるさと発見館（舞鶴市郷土資料館）だより

令和5年2月

### ☆今月の展示解説は「<sup>きょうづか</sup>経塚と出土遺物」！

今月の展示解説は市内の経塚と、その出土遺物です。「経塚」とは、お経や鏡、法具などを供養して土中に埋めた仏教遺跡のことで、様々な願いと目的をもって平安時代中期から江戸時代まで国内で広く造られました。市内には中世（平安時代～戦国時代）の経塚がいくつもあり、今回はそのうち「油江経塚」・「<sup>てんだいみなみだに</sup>天台南谷遺跡」と、それぞれの出土品について展示解説をおこないます。

右は「油江経塚」から出土した金属製の遺品で、<sup>きょうづつ</sup>経筒とい  
います。実物は現在東京国立博物館で保管されていて、資  
料館では精巧な複製を見ることができます。経塚を造った人々  
は、お経が長い年月をかけて後世に残るように、このような容器  
に<sup>まいのう</sup>込めて埋納しました。

下の2枚の写真は天台南谷遺跡から経筒が出土した時  
（平成11年）のものです。こちらでは経筒の上から<sup>かめ</sup>甕を被せた  
状態で発見されました。経筒が埋められていた尾根には中世  
のお墓も造られており、経塚とあわせて「天台南谷遺跡」といいます。

展示ではこれら経筒のほかにも、経塚から出土した遺物を紹介しています。



<sup>ゆごきょうづか</sup>油江経塚出土 <sup>きょうづつ</sup>銅板製経筒（複製）



<sup>てんだいみなみだに</sup>天台南谷遺跡 <sup>かめ</sup>甕・<sup>きょうづつ</sup>経筒 出土状況（平成11年）



<sup>てんだいみなみだに</sup>天台南谷遺跡出土 <sup>きょうづつ</sup>経筒（同年）

## ☆今月の糸井文庫

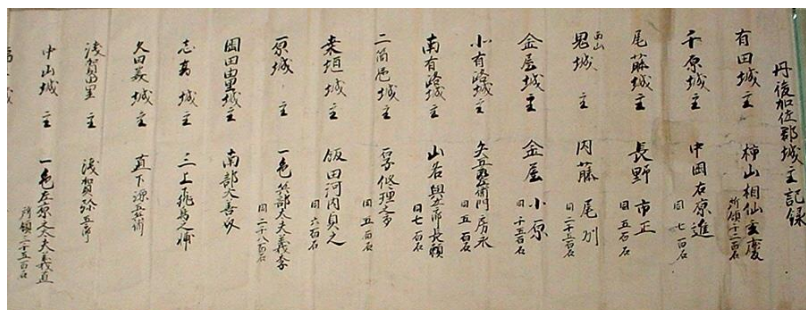
糸井文庫コーナーでは毎月テーマを決めて糸井文庫の浮世絵を紹介しています。今月は「2月は節分—鬼くらべ！」です。糸井文庫には約200点の浮世絵があります。その中で最も多いのは67点ある酒吞童子の錦絵です。今月はその中でも鬼(酒吞童子)を大きく描いた錦絵を紹介し、その迫力をお楽しみください。



糸井文庫；歌川芳艶画「大江山酒吞退治」

## ☆今月の一品

今月の一品は「加佐郡城主記録」(獄家文書)です。舞鶴市内には100以上の山城があります。山城とは戦国時代に山腹や山頂に築かれた城で、天守閣のあるような城ではありませんが、土塁や堀などの土木工事で築いた砦です。攻めてきた敵を迎え討つだけでなく、財産や農民の避難場所でもありました。舞鶴にたくさんの山城



「加佐郡城主記録」(獄家文書)

があるのは、舞鶴は丹後の東端にあって、若狭・丹波と国境を接しているため丹後・若狭・丹波の戦争に巻き込まれることが多かったためだといわれています。この城主記録は一色方(丹後国主)の武将35人の名が記されています。年号にまちがいがあり、石数で書かれているため、江戸時代に書かれたものだと考えられますが、戦国時代の舞鶴を知る貴重な情報です。

お問い合わせは

舞鶴ふるさと発見館(舞鶴市郷土資料館)

TEL:0773-75-8836

(受付時間 9:00~16:30)

FAX:0773-77-1314

住所:舞鶴市字南田辺1番地

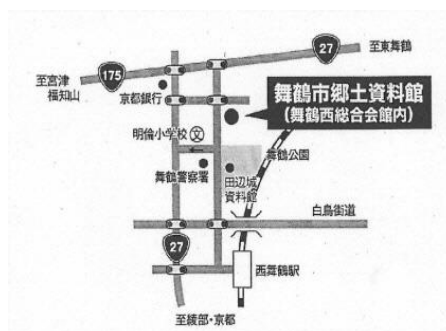
(ゆうさい会館(西総合会館)1F北側)

展示室入場料:大人100円、

市外学生50円

サロンスペース:無料

休館日:6(月)・13(月)・20(月)・24(金)・27(月)



コロナウィルス感染予防対策にご協力ください